



栗北通信

尾道市立栗原北小学校
令和3年7月1日
発行者 教頭 吉原明美

学校教育目標：関わりの力を持ち、自分を表現できる子供の育成



体育参観日 ありがとうございました



6月25日(金)の体育参観日では、暑い中子供達の演技をあたたく見守ってくださりありがとうございました。ゴールデンウィーク明けから、各学年の練習がスタートし、どの学年も体育参観日に向けて頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、広島県においても緊急事態宣言が発令され、当初の予定どおり行うことができませんでした。「自分達の姿をビデオに撮影して保護者の方に届けよう」と新たな目標を決めて取り組んだ5月。そして今回は、「自分達の頑張っている姿を見てもらおう」と新たに目標を決め、気持ちを高めてきました。分散という形ではありましたが、実際に見ていただくことで、子供達も達成感を味わうことができました。「緊張したし、ドキドキしたけど、とても楽しかった」と笑顔で話してくれた子供達の顔は輝いていました。



校外学習で学びを深める

緊急事態宣言が解除となり、今まで中止や延期となっていた校外学習も始まっています。先日1年生は、生活科の授業で公園に、4年生は総合的な学習の時間に藤井川の観察に行きました。

実際に見て、触れて、感じる事ができる体験活動は子供達の興味関心、学びへの意欲につながっています。



学校の近くにこんな公園があるんだね。



川にはいろんな生き物がいるんだね。



クロームブック



全校児童1人1台のクロームブックが整備されました。今年度から、各学年、様々な教科で、クロームブックを活用し、授業を行っています。低学年は、自分でパスワードを入力する練習からスタートしています。1年生の教室では、6年生の児童がパスワードの入力の仕方を教えるなど異学年交流を行う姿が見られました。

ICT機器を活用しながら、子供達が主体的な学びができるようにしたいと考えています。



あいさつ運動

気持ちのよい挨拶を広げていこうと挨拶運動がスタートしました。

挨拶運動のメンバーを募ると、50名ほどの児童が参加してくれました。挨拶運動をどのような形で行うか話し合いを持ち、今週から挨拶運動がスタートしました。朝校門や児童玄関で元気な挨拶の声が響いています。



ファミリーリレー

課題解決委員会から提案があり、ロング休憩にファミリーリレーを行いました。チーム決めや準備物の確認など6年生がテキパキと動いてくれて、楽しい時間となりました。異学年交流の場が広がり、絆が深まっています。



竹馬の寄贈がありました

民生児童委員の友宗一己さんから、竹馬を2台寄贈していただきました。子供達のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

